

2020 年度最終 東大本番レベル模試 地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

**2 論述問題**

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1問につき1点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語1つにつき1点減点。  
(解答中のどこかで使用していればよい。  
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは1点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

- 1. <□□□□> 加点ポイント
- 2. □□□□× 事実誤認あり
- 3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

第1問 (20点)

設問A

(1) 3点 ※ [指定語句] 亜熱帯高圧帯 窓 壁 3つ全て 下線付きで使用

亜熱帯高圧帯の影響下に入る夏の暑さが厳しいため、窓を小さくして日差しから屋内を守り、壁を白く塗って日光を反射している。(2行)

【加点ポイント】

- ① (特徴と目的) 「窓が小さい」と「日差しから屋内を守る／室内に入る日光を少なくする」 →1点
- ② (特徴と目的) 「壁が白い／壁が厚い」と「日光を反射する／太陽熱を受けにくくする」 →1点
- ③ (①②の背景) 「中緯度高圧帯」により「夏の暑さが厳しい」「夏は高温になる」 →1点  
▲ 「夏」が無ければ加点しない

(2) 各1点×3

Xーカトリック Yーブラジル Zーフィリピン

(3) 2点

高低差のあまりない平坦な氷食地が広がり、偏西風が卓越する。(1行)

【加点ポイント】

- ① 国土が平坦／高低差が少ない／急流を持つ川がない →1点
- ② 偏西風が吹く →1点

(4) 4点

両国ともスカンディナヴィア山脈に急流が多いため水力発電に適するが、偏西風が山脈を越えて下降気流となる f は、上昇気流となる e よりも降水量と河川の流量が少なく、原子力発電も行われる。(3行)

【加点ポイント】

- ① e は水力発電が多い／e も f も水力発電が多い →1点
- ② (①の理由) 急流が多い／スカンディナヴィア山脈は高低差がある →1点
- ③ f では原子力発電が多い／f の水力発電は e の半分以下である →1点
- ④ (①③の理由) e は偏西風の風上で f は偏西風の風下になる  
／e は偏西風により雨が多いが f は偏西風が山脈を越えるので e より雨が少くない →1点

設問B

(1) 各1点×2

アー鉄鉱石 イーボーキサイト

(2) 3点

ウは中国東部と日本の大消費地が近距離にある。温暖なエは、国の北部の大消費地で野菜の収穫量が減る冬に、それを出荷できる。(2行)

【加点ポイント】

- ① (ウは) 大消費地に近い／首都(北京)や日本に向けて出荷できる／近郊農業が立地する →1点
- ② (エは) 北部の大消費地に出荷する／輸送園芸(トラックファーミング／遠郊農業)が立地する  
／野菜を促成栽培して出荷する →1点
- ③ (②の背景) エは温暖である／エは冬でも気温が高い →1点

(3) 3点 ※ [指定語句] 海 幹線 山 3つ全て 下線付きで使用

三方を海に囲まれている上に鉄道や道路の幹線からも離れており、他地域との往来に時間がかかる。また、山が多く平地が乏しい。(2行)

【加点ポイント】

- ① 他地域との往来に時間がかかる／交通の便が悪い →1点
- ② (①の背景) 「海に囲まれている／周囲が海である」かつ  
「幹線道路(鉄道の幹線)から離れている／幹線道路が通っていない  
／新幹線などが通っていない」 →1点
- ③ (その他の要因) 山が多い／平地に乏しい →1点

第2問 (20点)

設問A

(1) 3点

(a)ーフランス (b)ードイツ (c)ーイギリス (d)ースペイン

※4個正解 →3点 2~3個正解 →2点 1個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 3点

Q。少雨寒冷の気候。製糖業の立地。

【加点ポイント】

① (てんさいは) Q →1点

★①の加点を②③の加点の前提とする

- ② (てんさい生産上位国の気候) 寒冷／冷涼／気温が低い →1点
- ③ (てんさいを原料とする産業) 製糖業／砂糖の生産 →1点

(3) 2 点

飼育方法の規格化や政府認証により銘柄豚の付加価値を高めた。(1 行)

【加点ポイント】

- ① 銘柄豚／ブランド豚として付加価値を高めた／イベリコ豚として高級化 →1 点
- ② (①の方法) 飼育方法の規格化／生産方法の管理(法令化)／ブランド制度の整備  
／認定基準の明確化／ブランド認定証の発行／政府による認証 →1 点

(4) 3 点

季節によって家畜を垂直移動させる移牧の経営を支援したため、牧草の広がる山村景観が維持され、観光資源としての価値を高めた。(2 行)

【加点ポイント】

- ① (伝統的牧畜に対する国の施策) 移牧の支援 →1 点
- ② (移牧の説明) 季節によって家畜を垂直移動させる／夏は高山で放牧し冬は麓で舎飼いする →1 点
- ③ (①により) 山村景観(移牧風景)が観光資源となった／観光業の振興につながった →1 点

(5) 3 点

EU加盟に伴い、大半を占める零細農家は他国の大規模経営との競争に苦しむ上、輸出向け衛生基準への対応も負担となっている。

【加点ポイント】

- ① 他国の大規模経営との競争に苦しむ／国際競争力を持たない／安い酪製品の輸入が増えた →1 点
- ② (①の背景) EU加盟 →1 点
- ③ (②により) 衛生基準などが厳格になった／EU基準に合わせた生産が求められた →1 点

設問B

(1) 3 点 ※ [指定語句] 

農業機械	品種	酪農経営
------	----	------

 3つ全て 下線付きで使用

農業機械の普及で役牛が減少する一方、品種の改良や飼養技術の向上で乳牛 1 頭あたり生産量が伸び、酪農経営の合理化が進んだ。(2 行)

【加点ポイント】

- ① 「農業機械の普及」で「役牛が減少／牛を耕作に使用しなくなった」 →1 点
- ② 乳牛 1 頭あたり生産量が伸びた →1 点
- ③ (②の背景) 「牛の品種改良／飼養技術の向上／配合飼料の利用」  
かつ「酪農経営の合理化／酪農経営の大規模化」 →1 点

(2) 3点 ※ [指定語句] F T A 異物混入 酪農国 3つ全て 下線付きで使用  
異物混入事件が発生し国産品の品質や安全性への信頼が低下する一方、酪農国との間でF T Aが結ばれ、  
乳製品の輸入が増大した。(2行)

【加点ポイント】

- ① 乳製品（粉乳・バター・チーズなど）の輸入が増えた／輸入食品への依存が強まった →1点
- ② (①の背景) 粉ミルクの異物混入事件が発生した  
／異物混入により国産品の品質や安全性への信頼が低下した →1点
- ③ (①の背景) 酪農国との間でF T Aが結ばれた →1点

第3問 (20点)

設問A

(1) 2点

(a)－名古屋 (b)－広島 (c)－ニューヨーク (d)－フィラデルフィア

※4個正解 →2点 1～3個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 3点

アメリカでは大都市以外は人口が少ないが、日本は都市域が連続している。総人口に占める割合は、アメリカより日本が大きい。(2行)

【加点ポイント】

- ① (メガロポリス内部について) アメリカでは大都市以外は人口が少ない  
／アメリカでは大都市間に人口の少ない都市が立地する →1点
- ② (メガロポリス内部について) 日本では都市域が連続する／日本は大中の都市が連続して立地する  
／日本は大都市間に中規模の都市が立地する →1点
- ③ (メガロポリスの人口が総人口に占める割合について) 「アメリカ<日本」が読み取れば →1点

設問B

(1) 3点

少子高齢化が進み、出生数減少と死亡数増加によって自然増加率が低下する一方、外国人の流入が増加して社会増加率が上昇した。

【加点ポイント】

- ① (自然増加率低下の理由) 出生数の減少／出生率の低下／少子化の進行 →1点
- ② (自然増加率低下の理由) 高齢者増加による死亡数の増加／高齢者が増え死亡率が上がった →1点  
(※「高齢化」だけでは加点しない)
- ③ (社会増加率上昇の理由) 外国人の流入増加／外国人数の増加 →1点

(2) 3点

2009年度は自然減の全国に対し自然増だったが、2019年には全国と同じく自然減に転じたが社会増加率は全国を大きく上回った。(2行)

【加点ポイント】

- ① (自然増加率について) 2009年度は全国は自然減だったが、8都府県は自然増であった →1点
- ② (自然増加率について) 2019年は全国・8都道府県とも自然減であった →1点
- ③ (社会増加率について) 8都道府県は社会増加率は全国を大きく上回った  
／8都道府県は社会増加率は大きく上昇し、全国と比べて大きい  
／全国も8都道府県も増加し、8都道府県は大きく上昇した →1点

(3)(a) 1点

高齢化率が急激に上昇し、医療や介護の担い手が不足する。(1行)

【加点ポイント】

- ① 「高齢化率が急激に上昇する／高齢者が増える」ため  
「医療(介護)の担い手が不足／老人施設等の供給不足／高齢者支援のための公共支出増加」 →1点

(3)(b) 1点

人口減少が続き、地域の共同体や産業の持続可能性が低下する。(1行)

【加点ポイント】

- ① 「人口減少が続く／過疎化が進む／限界集落が増える／少子高齢化が更に進む」ため  
「地域の共同体が崩壊する／産業が衰退する／行政サービスの低下／商店撤退」など →1点

(3)(c) 1点

地方から東京への人口移動が続き、人口分布の不均衡が高まる。(1行)

【加点ポイント】

- ① 地方から東京への人口移動が続く／人口の東京一極集中が進む／人口分布の不均衡が高まる  
→1点

設問C

(1) 1点

一貫して、都心の人口減少と郊外の人口増加が見られる。(1行)

【加点ポイント】

- ① 「都心は人口減少が続く」かつ「郊外は人口増加が続く」 →1点

(2) 3 点

快適な居住環境を求めて都心から郊外への人口移動が進む結果、老朽化した都心に貧困層が取り残され都心の社会環境が悪化する。

【加点ポイント】

① 都心から郊外への人口移動が進む／都心の人口が郊外へ流出した →1 点

② (都心の問題点)

- ・建物などの老朽化が進む／社会環境の悪化／犯罪の多発
  - ・貧困層が取り残される／高齢化が進む／移民が流入する／スラムができる
  - ・コミュニティの崩壊／地域行政の財政破綻
- } 1つ1点  
2点まで

(3) 2 点

I 期は都心再開発により都心の人口減少が緩和した。II 期は情報通信技術の進展で都市機能が分散し、都心の人口減少が進んだ。

【加点ポイント】

① (I 期は)「再開発」により「人口減少が緩和した／人口の郊外流出が弱くなった」 →1 点

② (II 期は)「情報通信技術の進展／都市機能の分散／都心の地価高騰／事業所の地方分散」により  
「人口減少が進んだ／都心から地方への人口移動が進んだ」 →1 点